

令和7年12月18日（木）

災害対策本部室

第4回 「板橋区スポーツ推進ビジョン2035」策定検討委員会

1 開会

2 議題

- (1) 「板橋区スポーツ推進ビジョン2035」原案について
- (2) 「板橋区スポーツ推進ビジョン2035」のパブリックコメントについて
- (3) 今後のスケジュールについて

3 閉会

第4回 「板橋区スポーツ推進ビジョン2035」策定検討委員会会議録（要約）

発言者	発言内容
	<h3>1 開会</h3>
スポーツ振興課長	<p>ただいまより第4回「板橋区スポーツ推進ビジョン2035」策定検討委員会を開会いたします。</p> <p>本会議は、会議録を作成するため議事の内容を録音させていただきます。また、本日傍聴される方はいらっしゃいません。</p> <p>本日の会議内容については、会議録の要点を事務局で取りまとめ、会議資料と合わせてホームページにて公開いたしますので、あらかじめご了承ください。</p> <p>続いて、資料の確認をおこないます。</p> <p>（資料確認）</p> <p>本日は「板橋区スポーツ推進ビジョン2035」の原案についてご説明しますが、その際に使用する資料は今後区議会に付議していく資料でもあるため、取り扱いにご注意いただきますようお願ひいたします。</p> <p>それでは、会議に入ります。はじめに本委員会委員長であります東洋大学齊藤教授に開会のご挨拶をいただきます。</p>

発言者	発言内容
齊藤委員長	お忙しい中ご参加ありがとうございます。検討委員会としては今日が最終回となり、原案についてご議論いただきます。事前に拝見しましたが、皆さんからの意見が反映されていると感じました。ご審議の程よろしくお願ひします。議題の（1）（2）は関連するので続けてご説明いただこうと思います。
	<p>2 議題</p> <p>（1）「板橋区スポーツ推進ビジョン2035」原案について （2）「板橋区スポーツ推進ビジョン2035」のパブリックコメントについて</p>
スポーツ振興課長	資料1（原案）、資料2（パブリックコメントと区の考え方について）を用いて説明をおこなった。
齊藤委員長	ありがとうございました。皆さんの意見を反映してできあがった原案と、パブリックコメントの結果についての説明がありました。何か意見や感想はありますか。これは、ビジョンができあがって、区民や関係機関にどのように周知するかについて、予定があるのでしょうか。
スポーツ振興課長	今のところ新規での取り組みはないですが、今やっているイベントについて好評なので、そちらをより広く知ってもらうことを考えています。近くの人は参加していても、区全体でみて知っている人は少ない状況です。
平岩委員	ご意見があったのは、ビジョン自体のプロモーションについてかと思いますが、まずは議会に諮り、それが区民に対する周知ということになるかと思います。また、冊子を作ると以前は色々な方面に配付していましたが、最近は紙ベースのものは減らしていく向きとなっています。むしろホームページの閲覧が多いので、そちらで見られるようにし、なるべく目につきやすいようにします。関心を持ってもらい、先に説明したイベントに参加してもらったりできればと思います。
齊藤委員長	まずはホームページが中心のことです。
スポーツ振興課長	体育館にも置いたりします。まずはスポーツに関心がある人から手に取ることになるかと思います。
齊藤委員長	他にはありますか。

発言者	発言内容
平岩委員	1年かけてご検討いただきありがとうございました。前回のビジョンはオリンピック・パラリンピックが東京で開かれることを契機に、どちらかというと競技スポーツに焦点を当てましたが、がらっと変え、区民を中心に、ウォーキングやユニバーサルスポーツなど誰もができるものを前面に押し出しました。今後、10年先を見据えて方向性を示したものなので、これに向かって、個別の施策において色々と反映させていきます。
齊藤委員長	他にありますか。特になれば原案はこの内容で進めることとします。せつかくなので各委員から、感想等があれば、本当に一言ずつでもらえればと思います。順に井上委員からいかがでしょうか。
井上委員	我々も60年の歴史がある団体です。現在、フィールドのプロモーションというものはコロナ禍以降減少しています。原因としては、テーマが鮮明でないものには人は動かないということがあります。我々が開催しているウォーキングイベントは近年参加者が増加しました。フィールドのプロモーションとはいっても、どのような所から取り組むかという問題があります。言葉は載っていても、現実には区民はもっと現実的で生々しいものなので、どのようにそうした乖離を埋めるかが気になります。我々は広報紙に一元化して、いつどこで何があるかといったことを示しています。原案の指標を見ると、区の施設を利用して満足した人は89%とあります。これらの人ほどなぜかで来たのかを把握し、その方たちをインフルエンサーとして色々啓蒙していくことが考えられるのではないかでしょうか。また、ウォーキングについてアプリの使用率は7%もいっていない現状です。原案の30ページまでに課題をまとめますが、予算も潤沢でないので、プライオリティを判断することが必要です。
折原委員	例えばウォーキングは行政では気づかない視点であり、皆さんのおかげで取り入れられたトピックだと思います。行政計画づくりはこれまでいくつか関わってきましたが、一番の課題は、主役である区民がどれだけ手に取りやすいものとなるかです。今回はコラムがあったり、27ページでスポーツに絡む機会がない働き盛りの層へのアプローチを考えてこうした表にまとめてあつたりして、よいと思います。一部署の一員としては、絵に描いた餅にならないよう組織間で連携して取り組んでいきたいです。
佐久本委員	今回のビジョンはユニバーサルスポーツという視点で多く入っていてあります。障がい施策の立場では、障がいの有無を超えて「一緒に」ということを言いはしますが、切り分けてスポーツを実施するが多く、区で開催するこうした大会でも、障がいのない方の参加を確保するのが難し

発言者	発言内容
	い状況です。一緒に参加して一緒に楽しんでいくという機運としていきたく、そうしたことを目指していけると有難いと思います。
久保田委員	策定のメンバーに入れてもらい、光栄でした。普段話す機会がない委員に、部活動の地域移行への意見をもらえまして、有難く思います。教員や教育委員会事務局の内部で考えてしまうので、意見を持ち帰って検討し、部活動の方の計画策定にも活かしています。部活動の地域移行やスポーツに関し、実態としてわかつていなかった部分について、時代に合わせて変わっていっていることを感じており、eスポーツを実際に見て、一見に如かずということを思い知りました。スポーツとは、部活とは、ということを引き続き考えていきたいです。
河島委員	<p>色々な意見を聞かせていただき、公園というフィールドをもっと皆さんにつかってもらえるよう工夫しなければと感じました。我々も、もっとポテンシャルがあるにもかかわらず活用しきれていないと感じています。今後どうやって区民に使ってもらえるか。しかもスポーツ、ウォーキングや乗り物という観点で様々あるのが公園なので、うまく活用してもらえばと考えています。区内では公園の大規模リニューアルも行っています。そこは元々交通公園という自転車が練習できるような所でしたが、今は新たに様々なモビリティがあるので、それらを試せる・体験できる場となっており、そして教育も含め、体を動かすということにつなげていくことを考えています。区の区立公園としては初となりますが、カフェレストランや畠も用意し、参加型の公園を予定しています。色々な方が体を動かすきっかけにもなると思います。完成したら足を運んでみてください。</p> <p>また今週末は、高島平緑地が非常に大きな公園ですが、ここで社会実験を行っています。にぎわい創出ということで本格実施している1年目であり、来年度までの2か年のものです。「みんなでつくる光のりょくち」というタイトルで、区のトップページのイベント情報にも掲載しており、ぜひご覧頂きたいです。今回の目玉としては、午後5時から焚火やナイトバーを用意します。また、昼の部のワークショップで作った光る風船を飾っての光のアートを企画しています。ただ、雨模様の予報であり、本降りになったら中止せざるを得ません。もし開催できたら、珍しい内容なので、ぜひお越しいただきたいです。</p>
太田委員	健康とスポーツの親和性の高さを実感していました。資料2でも2面の右側、上から3行目に「いたPay」がありますが、せっかくなので紹介します。原案の30ページ、主な取組2点目に「いたPay 健幸ポイントの活用」があ

発言者	発言内容
	<p>ります。書いてある通り、歩数計測や健康情報の閲覧ができ、また健康診断の結果登録でポイント進呈などもあります。4月時点で登録数は3.5万、現時点は4万程度です。今後もスポーツ部門と連携を図りながら、区民のウォーキング熱、スポーツ熱を上げて、いたPay 健幸ポイントの登録者数も上げていきたいと思います。</p>
山川委員	<p>委員として産業関係も入れてもらって有難く思います。ビジョンはいい形にまとめてもらい、最新のトレンドを捉えてマルチスポーツやeスポーツも入りました。eスポーツについては、昔教育委員会にいたのですが、これがまず地域クラブの1つとなり、立ち上げに関わりました。子どもに向けて募集チラシを自分が作り、キャッチフレーズとして「ゲームだってスポーツだ」というものを書きました。そこから4、5年経ちますが、ビジョン内にも記載がされて、新しい概念も取り込もうという事務局や委員の気概を感じるビジョンとなったと思います。今後20、30年を考えると、AI・ロボティクスの進化が目覚ましく、生活に入ってくると、余暇ができたからもっと体を動かそうという人と、ダラダラしようという人に二極化すると思われます。このビジョン内で、いかにスポーツの動機づけをするかという点で、楽しみながらという視点を入れてもらっていて、世の中の流れにしっかり合っていると思います。今後の盛り上げに期待を持っています。産業分野としてもいま構想を立てていて、その中ではもっと色々なステークホルダーとの関係を深めていこうとしており、対話をしながら何ができるか考えています。部署や機関の垣根を超えて、日本全体として盛り上げていければよいと思います。</p>
森委員	<p>現役競技者の立場で関わってきました。自身は板橋区民でもあり、またユニバーサルスポーツ、パラスポーツに関わる人材でもあるので、検討を重ねて意見も反映されたこのビジョンに基づいて今後10年進むのかと思うと、愛着を持てます。パブリックコメントを見ても、自身もアルバイトで区のスポーツ施設で働いていたこともあるので、スポーツプログラムの問題や施設の問題が出ているのを見ると、そうしたことに関心が高い地域であるのは間違いないと思います。今後も時流やニーズが変化していく中で、焚火という話もありましたが、新しい受け皿も必要になると思うので、ビジョンとは別に個々の課題も出てくると思いますが、このビジョンがあるおかげで考えられそうという期待感を持っています。今度パラリンピックがありますが、区では冬のスポーツも身近ではありません。冬の競技を始めて思うのは、どうしても雪のある現地に行ってやりますが、都内でも競技に親しんでもらうことはできる気がしていて、パラスポーツだけでなく、板橋区がスポーツの拠点になる場所であればと考えています。どこかの機会で力になれることがあります</p>

発言者	発言内容
	ればと常々思っています。
安田委員	<p>まず、このビジョンは大変見やすく分かりやすく仕上げてもらいました。思うのは2点で、まず人口の推移は横ばいで進んでいるという中で、23区の中で、総合型地域スポーツクラブは非常に少ないです。60万人近く区民がいる中で、活動場所が少ないという実感があります。体育施設の充実もそうですが、やはり受け皿の点で、10年後にスポーツクラブやNPOが更にいくつか立ち上がって区民が気軽に参加できるとよいと思います。</p> <p>また、外国籍の住民が区や都全体でもかなり増えています。体育施設でも受け付け業務が問題になっている所があるようです。そういった辺りの充実も図る必要があるだろうと思います。外国籍の人たちが孤立しないように一緒に取り組めるスポーツが区内で生まれてくれればいいなと思います。</p>
節田委員	<p>私が呼ばれたのはウォーキング関連の観点でということだと思いますが、あらゆるアクティビティの基本だと思います。当たり前のことですが奥が深い活動です。今回広い意味でのスポーツの概念の中に含めてもらったのでよかったです。ウォーキングは非常に日常的なものであり、日常的な活動に落とし込む形で定着させていければ有難いです。それ程お金もかからず、健康面でも効果があります。立派なビジョンができたので、これを具体的な施策に落とし込んでもらい、様々なレガシーを活かしながら、日々区民が活動できるものになるべく落とし込んでもらいたいです。冒険館でもこうした事業を行っていますが、まだまだ参加者が少ないと思っています。単なる展示だけでは先が無いので、館外の活動も含めて盛り上げていきたいと思っており、若い冒険家たちとも接点を持っていきたいです。具体的な施策でアドバイスできることがあればいつでも相談してもらえればと思います。総論は得意ではありません。</p>
齊藤委員長	<p>昨日今日のスポーツに関するニュースの中で、一番大きなものは、巨人の桑田真澄選手が新潟の地方リーグのCEOになったことです。桑田氏曰く、10年先は野球人口が今の30%になるということで、様々なヒーロー選手やアニメ等に頼ったスポーツ振興は終わっており、地域に根差して振興していくかないと、ということを彼は言っています。今回ビジョンを作り、中身の指標は色々ありますが、到達するのは今のままで中々難しいです。その意味で、旧態依然とした昔の代表的スポーツだけでなく、ウォーキング等のソーシャルスポーツ、ユニバーサルスポーツ、eスポーツも含めてやっていかないといけません。時代の変化に対応する形で地域スポーツも振興していかねばな</p>

発言者	発言内容
	らないということです。やはりスポーツ振興にもお金はかかるので、ぜひスポーツ庁の補助金等を使いながら進めてもらえればと思います。民間が取れる枠もあり、区は多くの民間団体に施設を委託しているので、そこを絡ませたり、大学やウォーキング団体を絡めたりということも必要です。絵に描いた餅にしないようにするためには必要な視点であり、ぜひオール板橋で取り組んで、部署も超えて動いていければと思います。それでは議題に戻ります。
スポーツ振興課長	色々な意見をありがとうございます。素晴らしいものができたと思っていますが、絵に描いた餅にならないよう、施策に移したときにまた色々と意見を頂戴したいと思います。
	(2) 「板橋区スポーツ推進ビジョン2035」のパブリックコメントについて
齊藤委員長	議題(2)についてご説明お願いします。
スポーツ振興課長	説明をおこなった。
齊藤委員長	ありがとうございました。何か質問はございますか。
	-質問・意見等なし-
	(3) 今後のスケジュールについて
齊藤委員長	議題(3)についてご説明お願いします。
スポーツ振興課長	説明をおこなった。
	3 閉会
齊藤委員長	これにて第4回策定検討委員会を終了します。ご協力ありがとうございました。